【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【公開番号】特開2009-216380(P2009-216380A)
【公開日】平成21年9月24日(2009.9.24)
【年通号数】公開・登録公報2009-038
【出願番号】特願2009-116478(P2009-116478)
【国際特許分類】
Ｆ４１Ｈ　1/02　(2006.01)
Ｆ４１Ｈ　5/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ４１Ｈ　1/02
Ｆ４１Ｈ　5/02

【手続補正書】
【提出日】平成22年3月17日(2010.3.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
高速発射体に打ち勝つための身体防護具を作るための方法であって、
　傾斜した表面を有する複数のセラミック・ディスクを準備すること、
　複数のディスクを配置表面上にうろこ状パターンに配置すること、および
　うろこ状パターンの第１側に高引張り強度の接着基面を接着すること
を含む方法。
【請求項２】
配置することが、
　複数ディスクのサブセットを、第１水平方向からほぼ直線の水平行に置くこと
、および
　第１方向からる次の重なるほぼ直線の水平行を置くこと
を含む請求項１に記載の方法。
【請求項３】
うろこ状パターンが、
　各ディスクが配置表面によって画定される水平平面から傾くように、各ディスクを次のディスクの上に重ね合わせること
を含む請求項１に記載の方法。
【請求項４】
ディスクの表面を封じ込め包装材料によって包囲するステップをさらに含む請求項１に記載の方法。
【請求項５】
ガラス繊維オーバーレイをディスクの表面に接着するステップをさらに含む請求項１に記載の方法。
【請求項６】
アラミド繊維オーバーレイをディスクの表面に接着するステップをさらに含む請求項１に記載の方法。
【請求項７】

身体防護具において使用される複数の円盤形状のディスクを含む装置であって、各々のディスクはある半径と、半径の一部分と同延の第１傾斜表面と、ある厚さとを有し、前記複数のディスクは、うろこ状のパターンに配置され、そして
　隣接するディスクが一重で重なり、うろこ状パターンのディスクが引裂および切断に耐える基面を含む、
装置。
【請求項８】
ディスクがセラミック材料から構成される請求項７に記載の装置。
【請求項９】
ディスクの第１傾斜表面が、半径の一部分と同延のディスクの中央からほぼ下向きの傾斜を有する請求項７に記載の装置。
【請求項１０】
繊維入りの複合セラミック材料がアルミナを含み、少なくとも１２ＧＰａの硬度と少なくとも３．８ＭＰａ$m^{1/2}$の破壊じん性とを有する請求項７に記載の装置。
【請求項１１】
ディスクがさらに、アルミナと強化金属酸化物の複合材料を含む繊維入りセラミックから構成される請求項７に記載の装置。
【請求項１２】
強化金属酸化物が変態強化ジルコニアである請求項１１に記載の装置。
【請求項１３】
変態強化ジルコニアがディスクの約１２重量％である請求項１２に記載の装置。
【請求項１４】
ディスクがさらに、第１傾斜表面に結合された封じ込め包装材料を含む請求項７に記載の装置。
【請求項１５】
封じ込め包装材料が、
　接着基面コート、および
　接着基面の上に重なるガラス繊維材料
を含む請求項１４に記載の装置。
【請求項１６】
封じ込め包装材料が、
　接着基面コート、および
　接着基面の上に重なるアラミド繊維
を含む請求項１４に記載の装置。
【請求項１７】
うろこ状パターンが複数のほぼ直線のディスク列を含む請求項７に記載の装置。
【請求項１８】
接着基面に結合された柔軟な身体防護具裏当てをさらに含む請求項１７に記載の装置。
【請求項１９】
うろこ状パターンが１８０度以上の円弧で着用者を防護するように着用者の周りに装置が延剤する請求項１８に記載の装置。
【請求項２０】
レベル３の弾道事象に耐える請求項１８に記載の装置。